

東京都写真美術館のスクールプログラム

東京都写真美術館では、児童・生徒が作品との出会いにより豊かな体験学習を行うことのできる、多彩なスクールプログラムを実施しています。鑑賞や制作・表現の活動を通して主体的な学びを促進し、子供たちの「生きる力」をはぐくむことのできるプログラムを多数ご用意しています。

基本メニューを中心に、担当の先生のセレクトに応じて個別に相談しながら、最適なプログラムを組み立てていきます。

東京都写真美術館スクールプログラムを、ぜひご活用ください。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

事業企画課 普及係

TEL:03-3280-0076 FAX:03-3280-0033

topmuseum.jp

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

●アクセス

恵比寿駅から：東京メトロ日比谷線恵比寿駅1番出口より徒歩約10分

J R山手線、埼京線、高崎線、新宿湘南ライン、りんかい線恵比寿駅より徒歩約7分。

目黒駅から：東急目黒線・目黒駅、権之助坂方面出口經由西口、

東京メトロ南北線、都営地下鉄三田線、J R山手線・目黒駅西口より徒歩13分。

児童・生徒のためのプログラム

スクールプログラム Day

写真や映像を、楽しく体験しながら学びます。出来の良い作品を作ることよりも写真や映像の仕組みを全員が理解できるように重点を置いた制作プログラムや、作品解説を聞くのではなく各自が思ったことを対話しながら共有し作品を見てゆくことで、作家の気持ちに近づくことを大切にした鑑賞プログラムによって、それぞれの気づき、発見、発想を伸ばし、生きる力をはぐくみます。

開催日：8月17日（木）、9月21日（木）、10月12日（木）、11月16日（木）、12月14日（木）

プログラム紹介

以下の中からお選びください。受け入れ人数は目安です（制作プログラムの場合も、展覧会見学を含みます）。

A：アート思考が目覚める鑑賞体験 —対話型作品鑑賞

受入定員：30名

それぞれが作品を見て感じたことを率直に話し合い、お互いの発言を共有しつつ鑑賞を進めていきます。グループでの対話により、一人では気づかなかった作品の魅力や多様な見方を知ることができるとともに、観察力、洞察力、想像力、傾聴力、発言力、語彙力など児童・生徒のさまざまな「生きる力」＝「アート思考」をはぐくみます。当館特製の「色と形と言葉のゲーム」（実用新案登録）を使い、同じものを見てもそれぞれ異なる気づきがあることを楽しく体験し、その後、展示室またはスタジオでプロジェクターで投影した作品を、全員で対話をしながら、じっくり作品を鑑賞します。



B：暗室での写真制作体験 —フォトグラム

受入定員：30名

暗室で「写真を焼きつける」体験、昔ながらのモノクロ写真印画紙を用いてプリント技法を体験します。フォトグラムは、様々なものの影や形を、印画紙に直接写し取る制作方法です。カメラに頼らない自由な造形活動により、もののかたちの多様さを実感しながら、写真ならではの光と影による表現を体験できます。モチーフは各自が持参したもの、または当館で用意しているものを使用することができます。



C：手作りアニメーション体験 —おどろき盤とマジカループ

受入定員：35名

アニメーションの仕組みを体験的に学び、自分で描いた絵や形を動かしてみる楽しさを発見できるプログラムです。19世紀に発明された映像装置「おどろき盤（フェナキスティスコープ／ヘリオシネグラフ）」を元にした、当館オリジナルの「おどろき盤体験キット」を用いて、自分で好きな絵を描き、回転アニメーションを制作、鑑賞します。また「おどろき盤」を元にした Web アプリ「マジカループ」では、タブレット端末や PC 等のデジタル・デバイスを活用して回転アニメーションの世界を体験的に学ぶことができます。



ご利用にあたってのポイント

スクールプログラムの所要時間の目安は2時間です。

- スクールプログラムを実施するにあたり、ボランティアスタッフやテクニカルスタッフなど当日のサポートに必要なスタッフの手配・調整をいたします。

スクールプログラムの受入れ可能時間は、開館時間と同じ 10:00～18:00 です。10:00 以前、および休館日（月曜日、月曜日が祝休日の場合は翌日）の受入れは行っていませんのでご注意ください。

- ここにはない内容での実施の希望や研究授業など、特別な事情がある場合は、お問い合わせください。

先生のためのプログラム

TOP ティーチーズ Week（事前申込制）

都内の小・中・高等学校、特別支援学校の先生ならどなたでも、当館主催の展覧会を無料で自由に観覧できる1週間です。写真や映像作品のモチーフ、仕組みだけではなく、展覧会の構成やテーマ、作品の展示方法など、学校の授業や学校展覧会のヒントが盛りだくさんです。この機会に、まずは先生方に本物の写真・映像作品に触れていただき、写真・映像作品を活用した授業展開のヒントや、学校での来館の検討や、自己研鑽にお役立てください。

第1回 2023年8月11日（金・祝）～8月18日（金）

対象展覧会：「TOP コレクション 何が見える？『覗き見る』まなざしの系譜」
「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」「風景論以後」

申込受付期間：7月10日（月）～8月7日（月）必着

第2回 2023年10月27日（金）～11月3日（金・祝）

対象展覧会：「ホンマタカシ（仮称）」「見るまえに跳べ 日本の新進作家」

申込受付期間：9月15日（金）～10月17日（火）必着

第3回 2024年3月1日（金）～3月8日（金）

対象展覧会：「イメージと記憶（仮称）」「恵比寿映像祭 2024」

申込受付期間：2024年1月20日（土）～2月20日（火）必着

- お申込みいただいた方には、折り返し参加証をお送りします。当日は参加証（期間中有効）をプリントアウトしてお持ちいただき、各階展示室入口でご提示ください。
- *ご利用はお申込者ご本人に限ります。
- *各展覧会に入場できるのはそれぞれ1回ずつとなります。
- *すべての展覧会を同日中にご覧いただけない場合は、ティーチーズウィーク期間中であればご利用いただけます。
- *参加証は期間中のみ有効です。

教員研修会

区や市の図工・美術教員の研究会での研修も受け付けております。当館のスクールプログラムの説明、プログラムの体験、学校で行う授業での活用方法など内容をご相談に応じて組み立てます。まずはお問い合わせください。受入定員：30名以下（内容によって変わります）



各種お申し込みまでの流れ

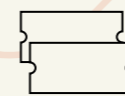
①「スクールプログラム Day」・「教員研修会」お申し込みの場合



電話にて申込み



事前打ち合わせ



観覧料減額免除のお手続き
（必要な場合）



当日まで

まずは、お電話にてご連絡ください。学校名、ご担当、連絡先、学年、人数、クラスの特徴、希望内容、候補日時（複数）などをうかがいます。※お申し込みの締め切りは、実施の2ヶ月前までです。

担当の先生にご来館いただき、当日の来館方法、滞在時間、申し込みの動機と授業の目的、実施後の展開などをご説明いただき、プログラムの内容、スケジュール、持ち物など詳細についてお打ち合わせを行います。また当日鑑賞する展覧会やトイレなどの下見、ご確認をしていただきます。

都内の小・中・高等学校等の児童生徒、およびその引率者は展覧会観覧料が減額または免除となります。「観覧料減免申込書」を美術館ホームページからダウンロードし、ご記入の上、郵送にてお送りください。※お申し込みの締め切りは、実施の1ヶ月前までです。

事前授業などで、美術館でのルールやマナー、当日の持ち物などを、あらかじめご確認ください。

②「TOP ティーチーズ Week」お申し込みの場合

ご希望の方は、上記の各回申し込み受付期間内に、参加希望回、お名前、担当教科、学校名、学校住所、学校電話番号、メールアドレスを明記のうえ、メールでお申し込みください。申し込みメールアドレス topsppp_1530062@topmuseum.jp 東京都写真美術館 事業企画課 教育普及担当 宛